

配布 7件 : 回収 7件

実施日

平成30年11月23日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	達成度	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2		5		29%	施設移転を含め、今以上の活動場所が確保できるよう様々な検討をしていく
	2	職員の配置数は適切であるか	6	1			86%	機能訓練士及び保育士等の専門職員を配置し、かつ、基準より多い児童指導員を配置するなど手厚い職員体制としている 引き続きこの体制を維持できるよう頑張っていきたい
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	3		29%	別途バリアフリーに関するアンケート調査を開催予定
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	1	6			14%	一部の職員の参加にとどまっており、今後は全ての職員が参画できるよう、勤務体制の見直しを検討していきたい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	2			71%	保護者アンケートの実施は好調であるが、寄せられた意見に対応が難しい場面が多くあるところ。引き続き対応については検討していきたい
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1			86%	昨年度からHP上で公表している
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		1	6		0%	来年度中の実施に向けて検討作業に入る
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1			86%	月一回の所内研修を始め、多くの研修の機会場を設けており、引き続き多くの職員の参加を求めていく
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	6	1			86%	定期的な見直しを含め個別支援計画の作成を行っている
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	5	1		14%	標準化されたアセスメントシートを現在整備中。それまでの間、暫定シートで対応中
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	4			43%	シフトの都合上すべての職員が参加しての立案が難しいが、シフトの調整に取り組み多くの職員の参加が出来るようにしていきたい
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				100%	職員の負担の大きいところではあるが、同じプログラムとならないよう最大限の配慮を行っている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	3			57%	標準化されたアセスメントシートを現在作成中。今後このデータをもとに個々の児童に対するの支援内容をきめ細かく設定できる
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1			86%	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7				100%		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	3			57%	勤務時間の制約があることから十分な振り返りが出来ない。勤務時間の見直しも含め、支援の都度振り返りが行える体制を考えていく	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				100%	システムの導入以降、支援の都度きちんとした記録が行えている	
	18	定期的にモニタリングを行い個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7				100%		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	5	2			71%	基本活動の組み合わせが出来ているところだが、今以上の組み合わせも引き続き検討していく	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	3	1		43%	限られた職員のみでの参加となっている。もっとも精通した職員の参加が出来るよう勤務体制の見直しを検討する	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	3	1		29%	学校ごとの情報共有量に格差があるところ。すべての学校と情報共有できるよう調整を進める	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか							
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	1	5	1		14%	限られた施設との情報共有に留まっているところ。相談員と関係を図り情報収集に努めていく	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか							
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	3	2		29%	一部の職員への情報共有や助言に留まっているところ。勤務形態の見直しをすることで多くの職員が助言や研修を受けられるようにする	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		4	3		0%	児童クラブとの交流が無かったことから、来年度の事業計画に盛り込むこととする	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	5	1		14%	専門部会への参加は堅調であるが、自立支援協議会へは参加依頼が無いことから難しい状況	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	4	2		14%	保護者との連絡相談が一部の職員に限定されやすい。すべての職員に参加しても得るための取り組みを検討中	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	1	5		14%	来年度から実施予定	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	1		86%	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	4	1	29%	専門的な助言が行える体制も整ったことから、今後は積極的に取り組んでいきたい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	3	1	43%	開催はあるが参加率は低いところ。参加しやすい会となるよう工夫をしていく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	3		57%	体勢は出来ているが苦情を受けたことがないことから機能性は未確認
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			100%	
	35	個人情報に十分注意しているか	7			100%	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	3		57%	障がい特性理解の研修を行う等、職員のスキルアップを図っているところ
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3		57%	開催はあるが回数が低迷。今後より多くの機会を検討していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			100%	毎年マニュアルの見直しを行い、保護者及び職員へ配布
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	1		86%	定期的な訓練を実施中
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			100%	年3回の研修を実施中
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	1		71%	年2回の研修を実施中
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか					
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	3		57%	事例集は作成済みであるが職員間の共有は低調。職員会議等で共有する機会を多く持ちたい